



◇指導のねらい

(物に名前があることがわかり、平仮名の固まりでの把握ができてきている児童に対して)

・身近な物や食べ物の名称を平仮名の文字カードで作ることで、平仮名を一字ずつ読む力を高める。

◇基本の使い方

・写真カードの下に文字カードを貼る。

(固まり→ 一字ずつ(縦方向・横方向)へ)

◇指導の評価

固まりの平仮名カードでの活動を積み重ねた後に、一字ずつの活動を行った。

横並びでは逆方向(右)から並べることがあったので、縦方向(上)から行った。1単語ずつ確認(特に拗音については最初は貼っておくようにした)したことで、縦方向(上)からは、一字ずつ、スムーズに貼ることができた。

一字ずつ読んだり貼ったりすることに慣れてきたところで横並びでも行った。〈左から〉という方向を意識できるように、一字目を置いておき、繰り返し行ったところ、正しい方向で並べることができるようになってきた。

平仮名の読みができてきているが、書字がなぞり書きの段階の児童にとって有効な学習であった。